

# 建築BIM推進の取組について

---

令和8年3月18日(水)  
国土交通省 住宅局 建築指導課

- BIMとは、①及び②の情報が入った「建物情報モデル」を構築するシステム。

①3次元の形状情報

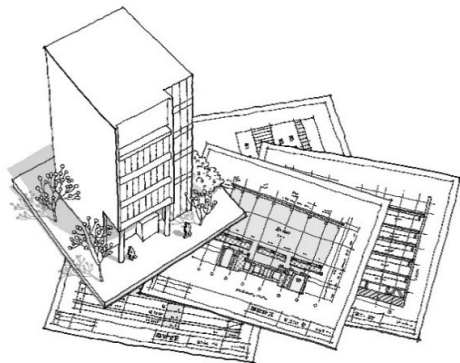
②室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建物の属性情報

## 現在の主流 (CAD)

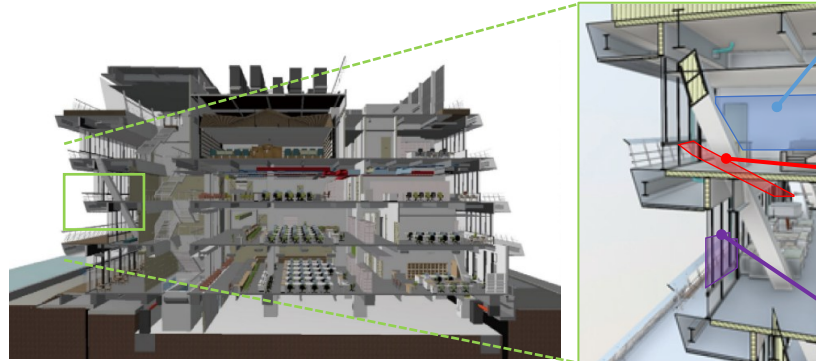
- 図面は別々に作成
- 壁や設備等の属性情報は図面とアナログに連携
- 竣工後は設計情報利用が少ない

## BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス

- 1つの3次元形状モデルで建物をわかりやすく「見える化」し、コミュニケーションや理解度を向上
- 各モデルに属性情報を付加可能
- 建物のライフサイクルを通じた情報利用/IoTとの連携が可能



平面図・立面図・断面図/構造図/設備図



BIMモデル  
(建物全体)

BIMモデル  
(室内部分を拡大)

### <壁の属性情報>

- ・壁仕上、下地材
- ・壁厚
- ・遮音性能
- ・断熱性能
- ・不燃・準不燃・難燃
- ・天井裏の壁の有無 等

### <柱の属性情報>

- ・構造、材種
- ・材料強度
- ・仕上、下地材
- ・不燃・準不燃・難燃 等

### <開口部の属性情報>

- ・開閉機構
- ・防火性能
- ・断熱性能
- ・金物、錠、ハンドル 等



- ① BIMによる確認申請を可能に
- ② 設計・施工・維持管理間の横断的な活用の円滑化
- ③ 維持管理・運用段階の利用促進
- ④ 中小の設計事務所・建設業者のBIM活用促進



社会実装を加速化

- 建築物の生産プロセス及び維持・管理において、BIMを通じ情報が一貫して利活用される仕組みの構築を図り、建築分野での生産性向上を図るため、官民が一体となってBIMの推進を図るため建築BIM推進会議を設立。
- 建築BIM推進会議においては、各分野で進んでいる検討状況の共有や建築BIMを活用した建築物の生産・維持管理プロセスやBIMのもたらす周辺環境の将来像を提示するとともに、個別課題に対応するための検討部会を設け、建築BIM活用に向けた市場環境の整備を推進。

## 建築BIM推進会議

【委員長】松村秀一 神戸芸術工科大学 学長

【事務局】国土交通省 大臣官房官庁営繕部整備課／不動産・建設経済局建設業課／住宅局建築指導課

【参加者】建築物の設計、施工、維持管理などに係る学識、国土技術政策総合研究所、建築研究所、民間関係団体等

※ 個別課題に対応した各検討部会を設置

### 部会①

BIMを活用した建築生産・維持管理に係るワークフローの整備

### 部会②

BIMの形状と属性情報の標準化

### 部会③

BIMを活用した確認検査の実施

### 部会④

BIMによる積算の標準化

### 部会⑤

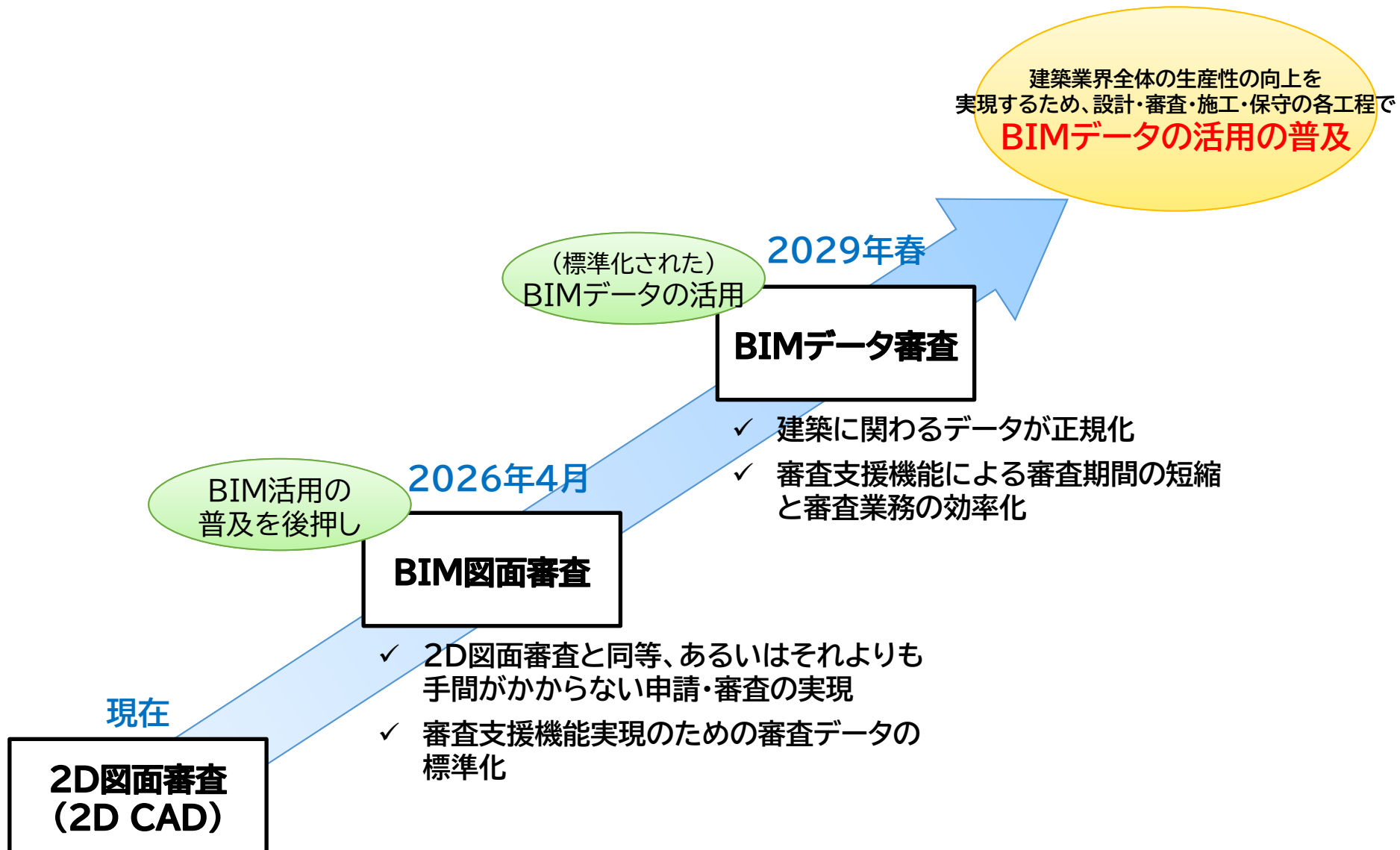
BIMの情報共有基盤の整備

## 民間団体等と連携・相互調整



## 民の取組

(公社)日本建築士会連合会	(一社)日本建設業連合会	(一社)日本コンストラクション・マネジメント協会
(一社)日本建築士事務所協会連合会	(一社)全国建設業協会	国土交通省国土技術政策総合研究所
(公社)日本建築家協会	(一社)日本電設工業協会	国立研究開発法人建築研究所
(一社)日本建築構造技術者協会	(一社)日本空調衛生工事業協会	(一社) buildingSMART Japan
(一社)日本設備設計事務所協会連合会	(一社)日本建材・住宅設備産業協会	(一社)日本建築学会
(一社)建築設備技術者協会	(一社)住宅生産団体連合会	(一財)日本建設情報総合センター
(公社)日本建築積算協会	(公社)日本ファリティマネジメント協会	(一社)建築・住宅国際機構
日本建築行政会議	BIMライブラリ技術研究組合	一般財団法人 建築行政情報センター
(一財)日本建築センター	(一社)不動産協会	



## BIM図面審査

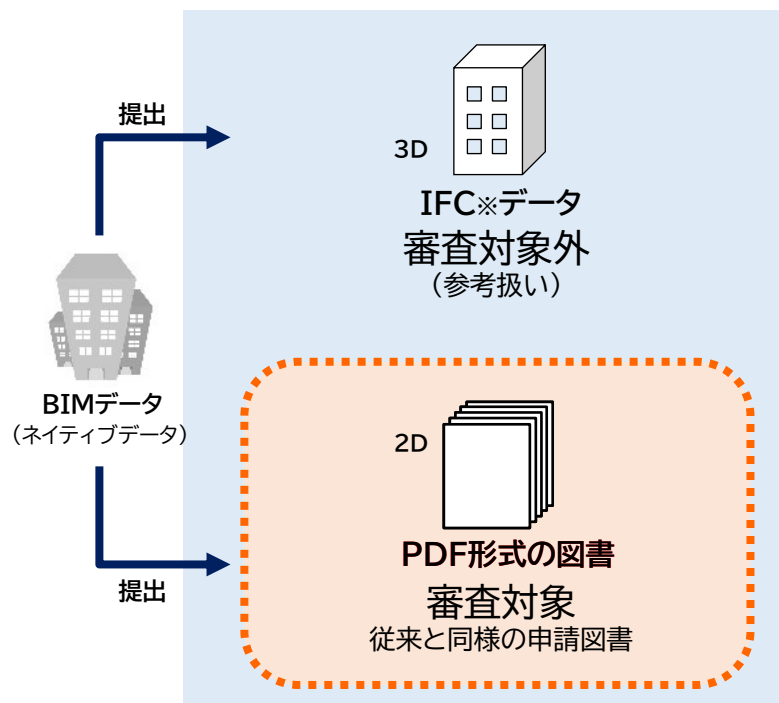
BIMデータから出力されたIFCデータとPDF形式の図書の提出により、図面間の整合チェックが不要となり、審査期間の短縮に寄与

2026年4月1日  
(予定)

開始

2027年度～

順次拡大



## BIMデータ審査

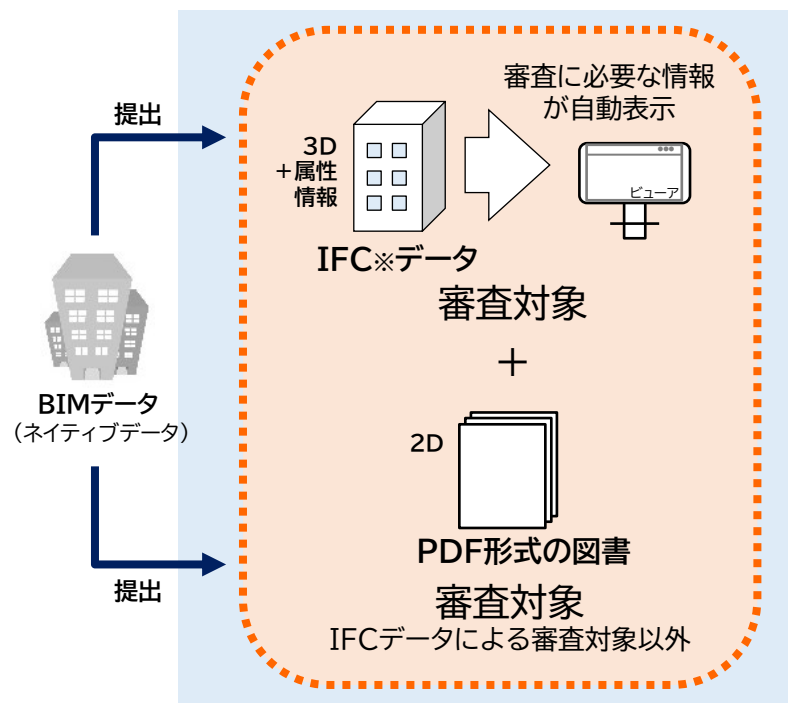
IFCデータを審査に活用し、審査に必要な情報が自動表示されることにより、更なる審査の効率化(審査期間の更なる短縮)に寄与

2029年春

開始

将来像

IFCデータを活用した  
審査対象を順次拡大



※ IFC: BIMの共通ファイルフォーマット

■ : CDE上での提出範囲

■ : 審査対象範囲

# 建築分野の中長期的なビジョン(仮称)の策定に向けて ～中間的なとりまとめ～ 概要

## ビジョン策定の目的

- これからの時代に即して、より良い社会資本としての建築物・市街地を構築するため、**国民、産業、学術、行政の多様な関係者ごとの目線を踏まえ、建築に関わる全ての関係者の共通認識を醸成**
- 建築分野の方向性を相互に理解しながら、**関係者が以下の視点からそれぞれの立場で活躍**できるよう、**必要な道筋をつけられる**ようにする
  - ① 経済的・社会的投資の予見性 ② 人材確保・育成の予見性
  - ③ 技術開発の方向性

## 想定する期間

- **見据える期間：2050年**（2050年より先の社会の持続性等にも配慮）  
⇒ 2050CN、人口動態等の社会構造の変革点など
- 計画期間：10年程度  
⇒ 施策の実施状況を評価するのに必要な期間

## 建築分野において目指す社会像

- 全ての経済・社会活動の下支えとなる建築・市街地について、社会的資産・経済的資本としてのあり方を示すとともに、利用・運用・維持管理を通じて社会に便益を生み続ける**建築を「使いこなす」**ことや、そうした建築群からなる**既成市街地を前提としたまちづくり**などの考え方を、建築の公共性の中核として位置づけ
- ビジョンを達成した先に目指す理想的な将来像のイメージについて今後議論

### (検討に際しての考え方の例)

- 建築を「使いこなす」という意識
- まちの縮退も考慮した、既成市街地を前提としたまちづくり
- 地域の経済を支え、資金を呼び込み循環させるストック活用の方向性
- 適切に「使いこなす」ための建築物情報の開示

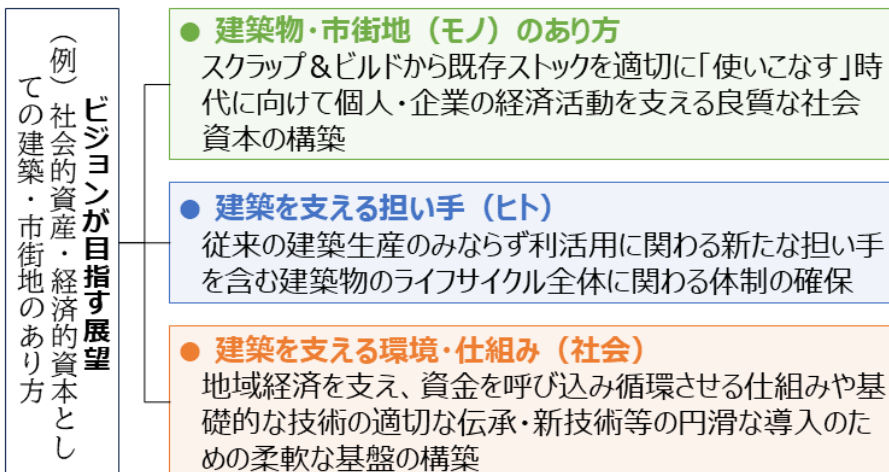
## 考慮すべき経済社会情勢の変化

- 令和4年の答申における建築分野の継続検討課題（**①既存建築ストックの状況 ②用途や価値観の多様性 ③建築に係る技術の進展 ④建築に係る担い手の状況**）
- 建築や市街地が個人・企業の**経済社会活動の基盤**であることに鑑み、**建築分野の射程の広がり**を踏まえると、以下のような経済社会情勢の変化も考慮する必要
  - ①人口動態 ②地球環境問題 ③物価高騰 ④他分野における動向

## 目指す社会像の実現に向けた取組事項

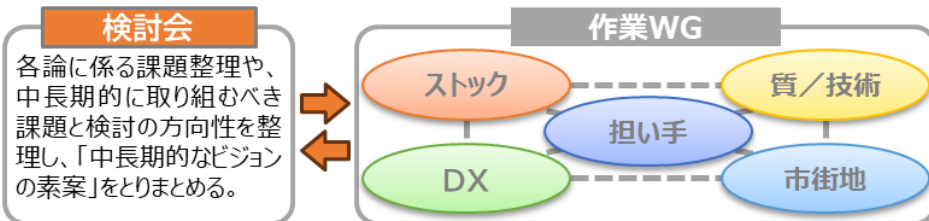
- ビジョンにおいて目指す社会像の実現に向けて、**国民・産学官の関係者の役割分担**や連携も含めた**取組事項**を、**①建築物・市街地（モノ）のあり方 ②建築を支える担い手（ヒト） ③建築を支える環境・仕組み（社会）**それぞれの視点ごとに整理

## 建築分野の中長期的なビジョンの枠組み(イメージ)



## 今後の検討

- 「建築分野の中長期的なあり方に関する検討会」及び同検討会の下に5つのWGを設置し、各論における議論を加速させ、「中長期的なビジョンの素案」を次年度上半期を目途にとりまとめ



※ これまでの議論の過程で得られた意見を論点集として整理し今後の検討に活用

# PLATEAUの取組について

---

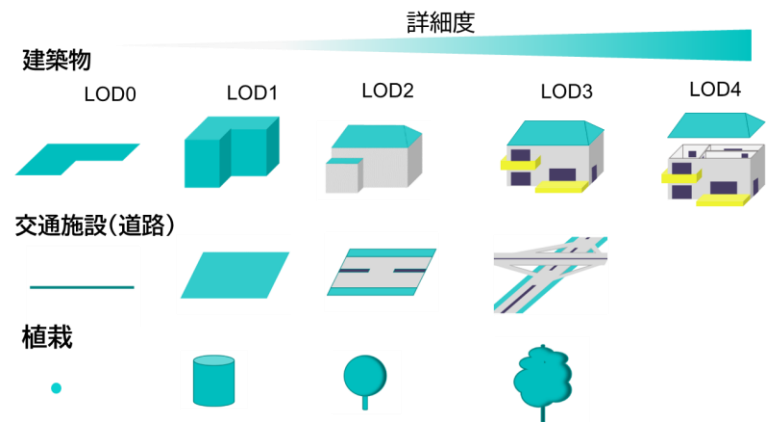
令和8年3月18日(水)  
国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課

- **3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進**する国土交通省のプロジェクトとして、Project PLATEAU（プラトー）を2020年に開始。
- Project PLATEAUの3D都市モデルは、都市の三次元形状に加え、**建物の用途や構造等の意味情報を保持可能**で、点群やGoogle Earth等の従来の3Dデータと異なる。

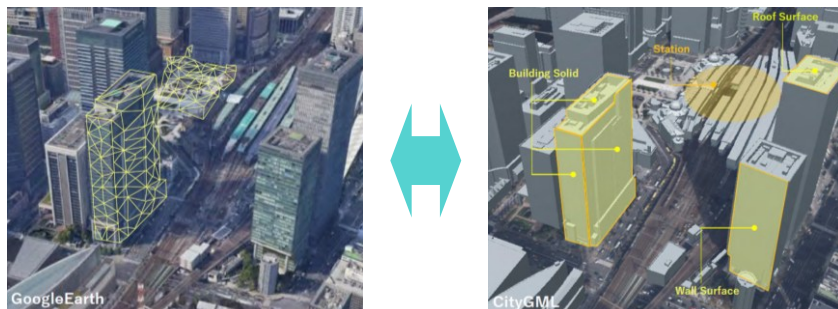
- 3D都市モデルは、基本的に①都市計画基本図(基盤地図情報)、②都市計画基礎調査、③公共測量成果(航空写真等)から作成。



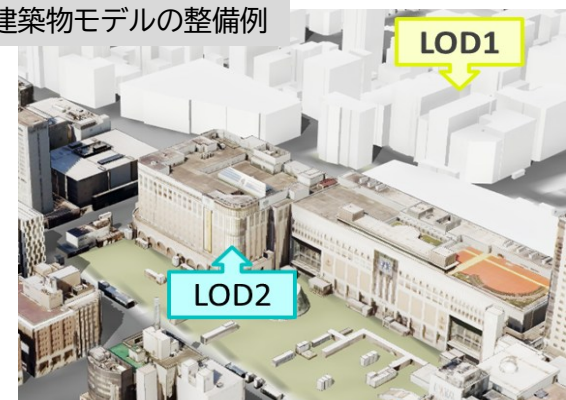
- 3D都市モデルの用途に応じて、適切な整備水準 (LOD0~LOD4)を選択可能。



- 従来の3Dデータ(左図:Google Earth)と異なり、三次元形状のみならず建築物の用途や構造等の意味情報を保持可能。



建築物モデルの整備例



- **Project PLATEAU**の取組開始から3年目を迎えた2022年度には**地方公共団体に対する補助制度を創設**し、3D都市モデルの整備・活用を促進。整備済都市数は、**令和7年度末に約300都市**に達する見込み。
- 「**2027年度までに500都市を整備**」等の実現を目標として掲げ、3D都市モデルの整備拡大・社会実装の実現に向けた取組を推進。

## ■ 3D都市モデルの整備状況

2020年度：約60都市

2022年度：約130都市

※地方公共団体への補助制度を創設

2023年度：約200都市

2024年度：約250都市

※民間事業者等への補助制度・間接補助制度を創設

→2025年度：約**300**都市（予定）

→2027年度：**500**都市（目標）

（いずれも各年度末時点の数字）

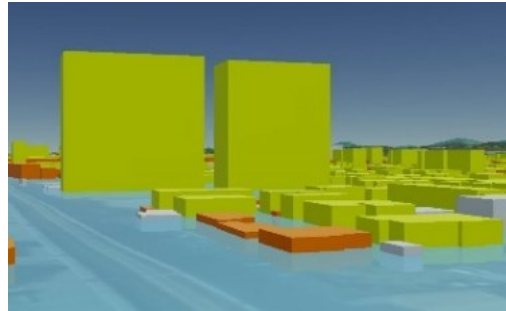


## ■ 3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

- 防災・防犯、環境・エネルギー、まちづくり、モビリティ、地域活性化・観光等の多様な分野で活用事例（ユースケース）を創出し、地域課題の解決やニーズに合わせたサービスを創出

### 浸水状況の3次元可視化

（2022年度補助事業。埼玉県戸田市）



災害リスクを3次元化し、建物データ（階数、構造等）と合わせた分析により、都市スケールで「垂直避難」可能な建物を抽出。防災指針の検討に活用することを目指す。

### 市民参加型まちづくり

（2023年度直轄事業。東京都八王子市等）



XR技術を活用したまちづくりWS運営システムを開発。複雑な都市開発を直感的に理解可能とすることで、まちづくりへの市民参加を活性化させる。

## ■ 3D都市モデルのオープンデータ化

- 3D都市モデルのデータや技術資料等を公開。3D都市モデルのデータは二次利用を可能とすることで、各分野における研究開発や商用利用を促進。
- ハッカソンの開催、ハンズオン支援等を実施し、**PLATEAUのコミュニティ形成を支援**。

### Learning

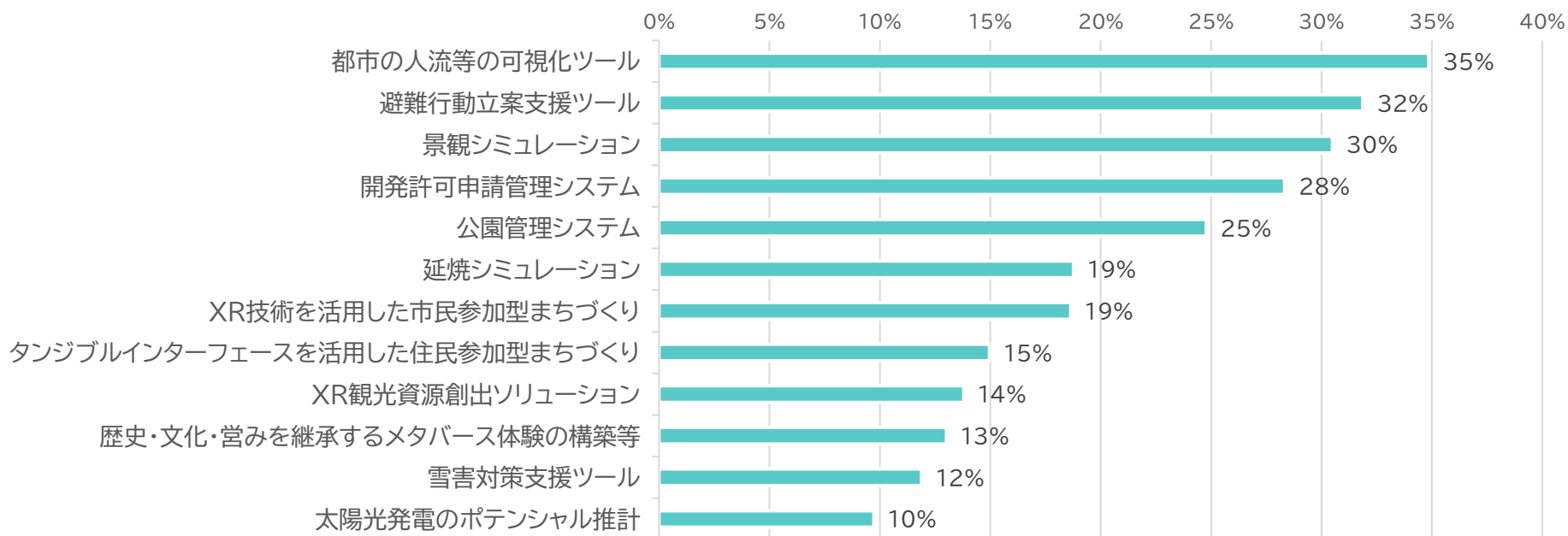


- 令和7年度に、3D都市モデルの整備・活用等の状況に関し、全ての地方公共団体を対象としたアンケートと、PLATEAUコンソーシアム会員を対象としたアンケート調査を実施。

【実施時期】 令和7年6月 【回答数】 47都道府県、1,590市区町村

## ●国において開発したツールのうち「関心がある」と回答があったツールについて

都市の人流等の可視化ツールや景観シミュレーション等、施策の合意形成過程において活用可能なツールへの関心が高かったほか、避難行動立案支援ツールについても約1/3の地方公共団体が関心を寄せており、全体として都市政策領域での活用に対する関心が高い傾向が見て取れた。

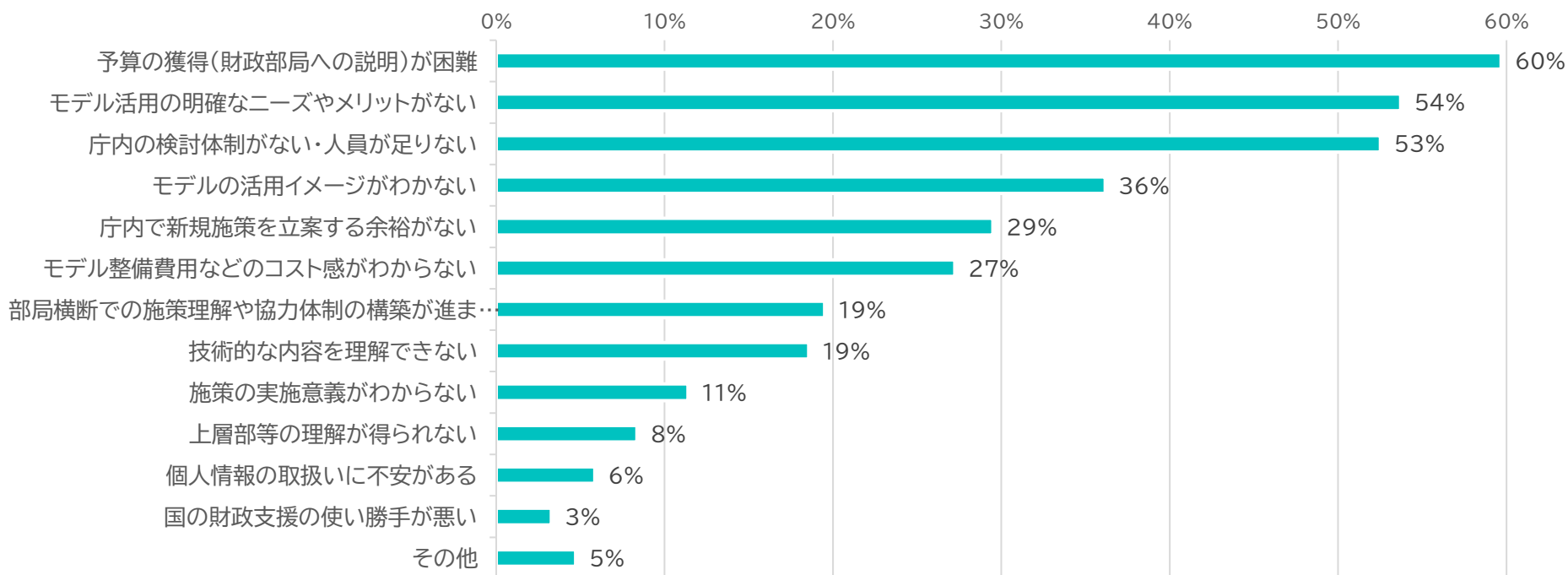


○ 令和7年度に、3D都市モデルの整備・活用等の状況に関し、全ての地方公共団体を対象としたアンケートと、PLATEAUコンソーシアム会員を対象としたアンケート調査を実施。

【実施時期】 令和7年6月 【回答数】 47都道府県、1,590市区町村

## ●3D都市モデルの整備・活用の取組の検討着手・実施にあたっての課題・ハードルについて

予算の獲得（財政部局への説明）が困難と回答した割合が最も多く、続いて3D都市モデル活用に対する明確なニーズ・メリットの不足や検討体制に課題があるという回答が多かった。

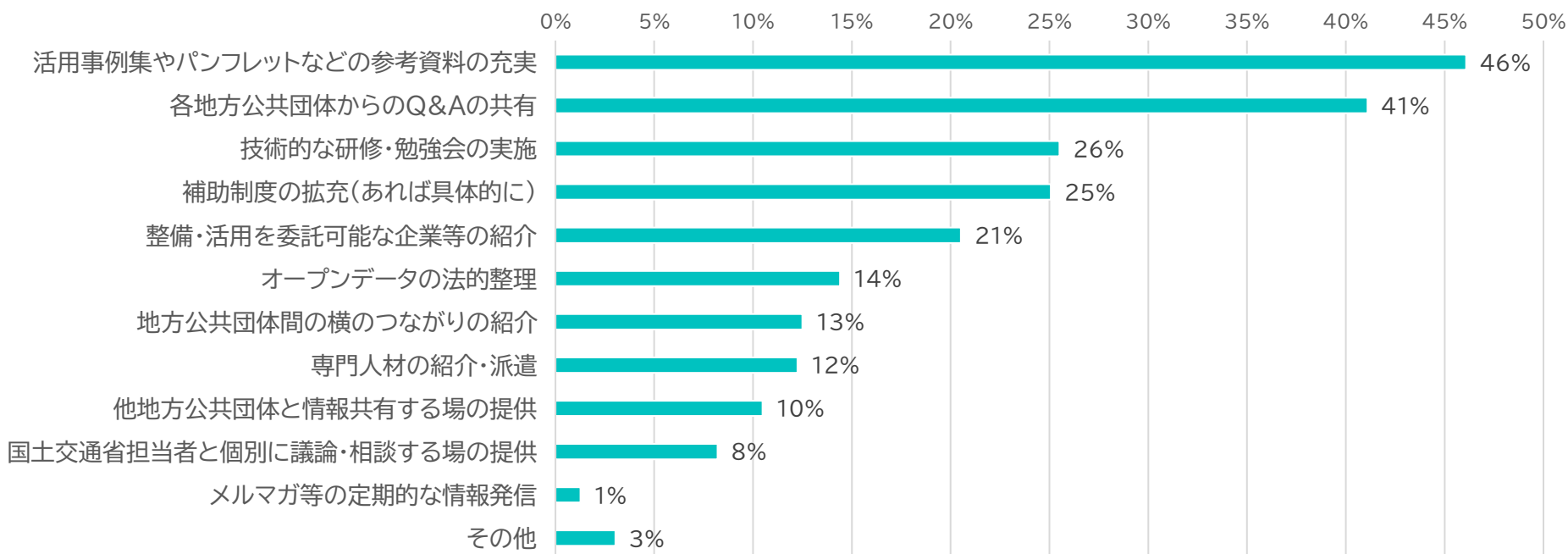


○ 令和7年度に、3D都市モデルの整備・活用等の状況に関し、全ての地方公共団体を対象としたアンケートと、PLATEAUコンソーシアム会員を対象としたアンケート調査を実施。

【実施時期】 令和7年6月 【回答数】 47都道府県、1,590市区町村

## ●3D都市モデルを整備・活用するにあたり、実施してほしい国の支援について

活用事例集やパンフレットなどの参考資料の充実や、各地方公共団体から寄せられる質問についてのQ&Aの共有に対するニーズが高いことがわかった。また、技術的な研修・勉強会の実施についても要望が多かった。



- これまでのPLATEAUでの取組みから認識される課題と今後目指すべき方向性、その実現に向けた具体的な取組みを提示するため、「PLATEAU ビジョン 2026」を策定予定。
- ビジョンでは、①データ整備・更新の効率化、②サービス実装、③国外への都市デジタルツイン展開を前述の主な課題の解決をはじめ、Project PLATEAUの目指す姿の実現に向けた**重要項目として位置づけ**。

## 今後取り組むべき重要項目

1

### データ整備・更新の効率化

- **モデルデータの整備・更新コストの低減に向けた技術開発と仕様の見直しにより、ニーズに即したモデルの新規整備都市拡大と、既存整備都市のモデル更新サイクルの確立を図る**
  - ニーズに即したデータ整備の促進
  - 整備・更新の効率化のための先進技術の開発・導入
  - 都市デジタルツインの整備拡充に向けた都市に関連する多様なデータ群の活用

2

### サービス実装

- **3D都市モデルをまちづくり分野において定常的に活用するとともに、周辺領域においても課題解決のツールとして活用し、さらに、まちづくりを超えた多様な分野における利活用の拡大を図る**
  - 都市計画・まちづくり実務や、手続き・管理などの行政プロセスの高度化・効率化
  - 社会課題解決に資するビジネス創発
  - 広範な利用者層に向けたさらなる価値創出

3

### 国外への都市デジタルツイン展開

- **国外における都市デジタルツインを活用した課題解決を促進するとともに、国内の取組への海外市場における成果の還元を図る**
  - 国際社会における我が国取組の認知度向上・主流化
  - 海外の都市開発施策との連動

- 従来手法の変革による、豊かな生活・多様な暮らし方・働き方を支えるまちづくりの実現のためには、PLATEAUの3D都市モデルを整備・活用する産学官の主体による地域への実装の自律的な発展が全国で進むことが必要。
- そのためには、フェーズフリーの考え方にに基づき、日常時には防災やまちづくり等に活用するとともに、非常時には災害対応に活用するなど、**多様で複雑な地域課題の解決に向けて、多角的・分野横断的な3D都市モデルの活用を想定した取組の推進が重要。**

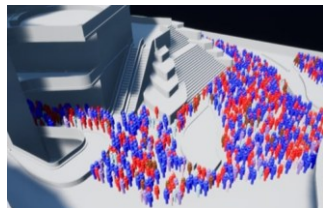
## フェーズフリーな3D都市モデル活用のイメージ

※開発中のものも含む

### 日常時（まちづくり・防災等）

### 3D都市モデル

### 非常時（災害対応）



建物内外の避難シミュレーション

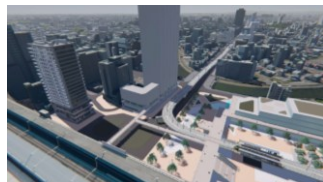
- 建物内外のモデルや人流データを活用した**混雑把握や避難ルート検討**

- 属性情報を活用した**都市構造推移の評価や立地適正化計画の策定・見直し等への反映**

- まちの**将来イメージの可視化と合意形成の円滑化**

- **災害リスク把握・防災計画等への反映**

- ・ 市街地での火災延焼シミュレーションによる防火地域等指定、消防訓練等
- ・ 水害時の浸水シミュレーションによる垂直避難建物の抽出や防災指針への反映等



まちづくりの将来計画の可視化

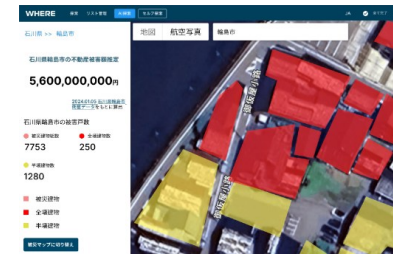


- 衛星データ等を活用した**建物被害認定業務の効率化**

- ・ 人工衛星データと3D都市モデルを活用して、被災後の建物被害を推定・分類し、被害状況のマップ表示・リスト出力・住居表示変換を提供できるよう開発を推進。

- **復興まちづくりにおける活用**

- ・ 能登半島地震後、被災地の復興まちづくり計画策定などに役立てることを想定し、PLATEAUの手法を活用して、能登地域周辺の3D都市モデル（建築物）を整備。



被災後の建物被害を推定・可視化



整備範囲（緑色着色に建築物が存在）

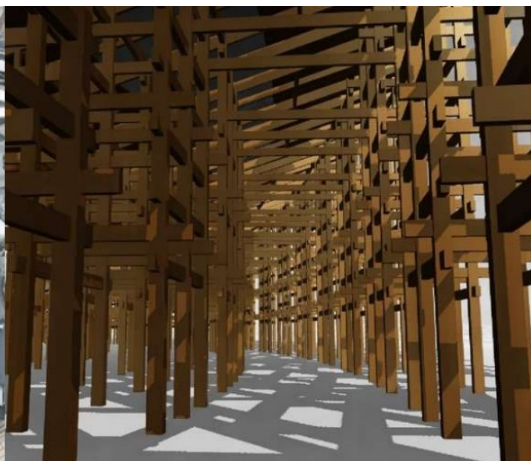


作成したデータ例

- **2025年に開催された大阪・関西万博会場の**大屋根リングや各国のパビリオンなど、会場内の建築物を3D 都市モデルとして整備することで、その価値を保存しつつ、建築やまちづくりをはじめとする多様な分野で活用可能な「**デジタルアーカイブ**」として提供（3月6日、G空間情報センター及びPLATEAU VIEWにて公開）。
  - **万博会場を再訪できるようなコンテンツや教育教材の開発等**において本データが活用されることを期待。また、「**GREEN×EXPO 2027**」（横浜グリーンエクスポ）においても、デジタルアーカイブの整備・活用を通じた機運醸成に取り組む予定。
- G空間情報センターにおいて、**3D都市モデル**及び**モデル整備**に当たって取得した**点群データ**を公開（**商用利用は禁止**）
  - 3D都市モデルは、**建築BIM**（大屋根リング）、多方向カメラで撮影した空中写真、レーザースキャナーで計測した点群データから作成

## ▼ 3D都市モデル

## ▼ 点群データ



【公開先】<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau-27999-osaka-shi-2025>（G 空間情報センター）

# データ公開後のSNSでの反響・ユーザーへの利活用の広がり

**エダホ @eda\_hotori** · 22時間  
実際に歩くと見たことある面角すぎて思い出が蘇って嬉しい。モデル公開感謝！  
#PLATEAU #cluster #EXPO2025



**tomo (とも) @view0608** · 1日  
国土省PLATEAUの大阪・関西万博会場の3D都市モデルでいる試してる。こうやってアーカイブされていくことはとても大事だなと思う。自分が現地でも3Dスキャンしたデータとも合わせてみたい。  
#PLATEAU



1 39 281 1.5万

**ひさやん @maybeSolopreneur** @ano... · 2日  
null2 落合陽一さんの万博パビリオンも点群なのでヌルヌルがツツツしてる反射するからLIDARとかもずかしそう  
点群撮影&処理班泣かせだったのか裏話など知りたい  
#PLATEAU #オープンデータ



5 316

**エダホ @eda\_hotori** · 4時間  
PLATEAUで配布された万博会場モデルデータをUnity向けに変換した際の手順を記事にしました。航空写真の差し替えで手間取ったので参考になれば。(変換後のデータも整理できたら共有したい)  
#PLATEAU #unity #note



2 23 94 7661

**ひさやん @maybeSolopreneur** @ano... · 1日  
ガンダムさんのざっくり20cm立方ポクセルイメージ  
ざっくり  
すべてのLASは、zip の状態で、300GB超かな20cmポクセルにすると概算だけ200~300MB Roblox にいれるなら Mesh化して1.5km四方は適度にいいサイズ感なのだけど、どこからが商用か難しい判断かもしれないね  
#PLATEAU #大阪・関西万博



7 265

**点群くん @tengun3D** · 2日  
大阪万博のPLATEAU公開データで万博Walkブラウザビューアを試す。  
CesiumJS  
PLATEAU 3D Tiles  
React + Vite  
次は  
・大屋根リング表示されない問題  
・テクスチャ調整  
・万博点群をPotreeで重ねる



#PLATEAU #CesiumJS #点群

2 140

**SouzouThurk @S\_Thurk** · 10時間  
だいぶ鏡庫になっちゃうけど、PLATEAUデータをワールド化出来ました  
(みくみくはフォトグラデータ)  
#PLATEAU #大阪・関西万博  
#EXPO2025Forever



27 2376

**SouzouThurk @S\_Thurk** · 13時間  
さくっと変換してみたけど、フォトグラ感が無くて歩き回るにはシンプルスすぎるかな  
x.com/mochisw/status...



**よっしー @VRでTRPGを遊ぼう!** @t... · 1日  
PLATEAUの万博データ、雑にResoniteに入ってた  
#Resonite #plateau



**Project PLATEAU @ProjectPlateau** · 2日  
【大阪・関西万博会場の3D都市モデルを公開！】  
#PLATEAU では大屋根リングや各国のパビリオンなどの3D都市モデルをデジタルアーカイブ...



11 795

**ひさやん @maybeSolopreneur** @ano... · 2日  
#ガンダム は点群側にはちゃんといたよガンダムは建物でも都市設備でもないからCityGMLにはおさまらないのであった！？  
#PLATEAU  
geospatial.jp/ckan/dataset/o...



7 1210

**chiyuki @chiyuki19387698** · 2日  
#PLATEAU さんによる大屋根リングや各国のパビリオンなどの3D都市モデルをデジタルアーカイブ公開！

**Project PLATEAU @ProjectPlateau** · 2日  
【大阪・関西万博会場の3D都市モデルを公開！】  
#PLATEAU では大屋根リングや各国のパビリオンなどの3D都市モデルをデジタルアーカイブとして公開しました！  
ご覧いただくとともにぜひ活用ください！  
▼詳細はこちら  
mlit.go.jp/report/press/t...  
▼ダウンロードはこちら  
geospatial.jp/ckan/dataset/p...



**びっかりん @ra0kley** · 2日  
ついに、大阪・関西万博の3D都市モデルが公開された！

公式のビューアで見ると以下の画像のような感じで見えます  
下のリンクから誰でもビューアにアクセスできます！ (PC推奨)  
plateauview.mlit.go.jp/?share=01kk0xh...

#PLATEAU #3D都市モデル #大阪・関西万博



**tomo (とも) @view0608** · 1日  
国土省PLATEAUの大阪・関西万博会場の3D都市モデルでいる試してる。こうやってアーカイブされていくことはとても大事だなと思う。自分が現地でも3Dスキャンしたデータとも合わせてみたい。  
#PLATEAU



39 281 1.5万

**エダホ @eda\_hotori** · 22時間  
色々直したいところあるけど一旦公開！clusterのワールドとしてアップしました！  
アプリを入れれば、PCやスマホで会場と大屋根リングの上を歩けます！(容量大きいのでスマホの方はWiFiで)  
cluster.mu/w/8f2b7848-316...  
#PLATEAU #cluster #あの日の夢洲 #EXPO2025



1:33

**Project PLATEAU @ProjectPlateau** · 2日  
【大阪・関西万博会場の3D都市モデルを公開！】  
#PLATEAU では大屋根リングや各国のパビリオンなどの3D都市モデルをデジタルアーカイブ...



**Borzio @Borzio** · 15時間  
#PLATEAU #3D都市モデル #大阪関西万博  
とりあえずunityに取込  
地面データなどがうまく取り込めていないので、要調整  
null2シングネチャ周辺  
大屋根リング海側  
ガンダムパビリオン：ガンダムとアトムがない  
2億円トイレ：色がかしい

時間見てちょこちょこ試すか



6 1082

**SeaGate (繁戸和幸) @sigmode21** · 7時間  
SeaGate (繁戸和幸)  
#PLATEAU で大阪・関西万博の3D都市モデルがデジタルアーカイブとして公開されたので、さっそく#ミヤクミヤクを置いてみました。  
ミヤクミヤクの3Dモデルの作り方は以下で公開中です~ (すみません、有料記事ですが;;)  
note.com/sigmode21/n/f...



5 213

**百合 @ボーター・ブリッジ** · 1時間  
めちゃくちゃ#あの日の夢洲で泣いた  
これいつまでもあの空間と一緒にだ  
ありがとうございます！  
環境音とかもあるとな臨場感が上がりそうです！

#EXPO2025 #PLATEAU #cluster #大阪関西万博2025



**エダホ @eda\_hotori** · 22時間  
色々直したいところあるけど一旦公開！clusterのワールドとしてアップしました！  
アプリを入れれば、PCやスマホで会場と大屋根リングの上...



5 111

# 不動産IDの取組について

---

令和8年3月18日(水)

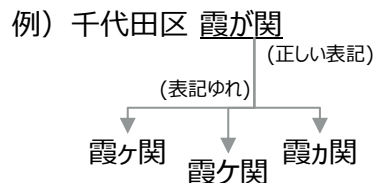
国土交通省 不動産・建設経済局 不動産市場整備課

## 施策の背景・現状

- 不動産は、**一意に識別（特定）することが難しく**、所在地の住所も表記ゆれ等が存在し、**DXや情報連携のボトルネック**となっている。国土交通省としては、**全国の不動産にID（不動産ID）を付与し、不動産を一意に特定できる環境整備を図る**方針。
- 現在は、**2027年度中の試験運用開始（一部先行整備地域）を目指して**、データ整備の検証やユースケースの検討等を実施しているところ。

不動産を一意に特定することは難しく…

### 表記のゆれ



### 住所と地番の混在

登記では、建物・土地とも「地番」で管理  
住居表示エリアでは日常は住所を使用

### 1住所複数建物

1つの住所に100以上の建物がある場合も各地に存在  
（「1住所複数建物」は全国約20%、東京都は40%程度  
2023年度国土交通省推計）

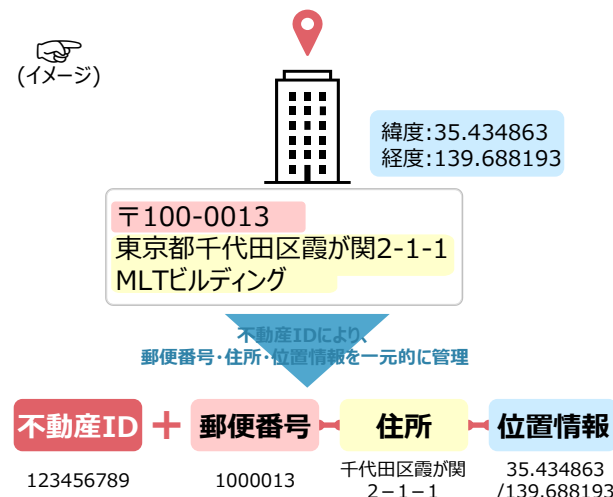
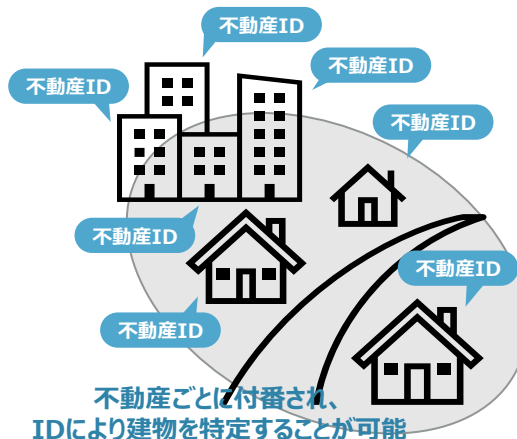
### 通称住所

「1住所複数建物」などの地域では識別のために通称住所が流通する場合も

DXや情報連携を進めるために不動産を一意に識別できる環境の整備が必要！

## 不動産ID

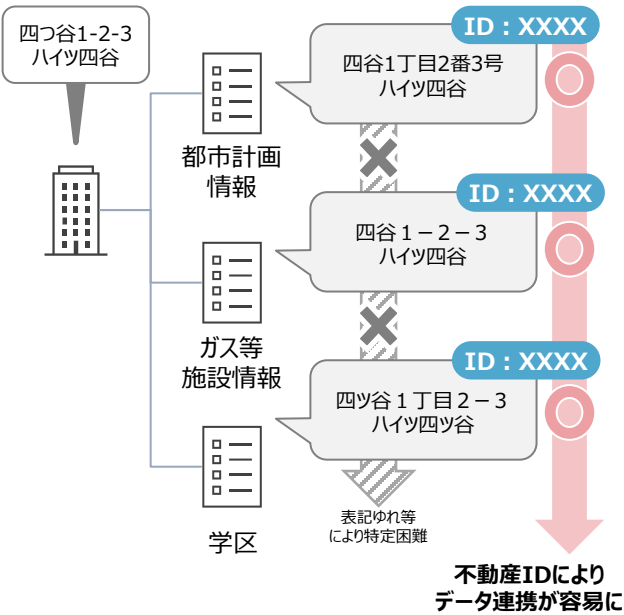
- ・ 不動産毎に付番されるコード
- ・ 位置情報を含み、不動産を一意に特定することが可能
- ・ 番号体系は検討中



- 不動産IDが整備されることにより、不動産業の効率化、物流業務の効率化、人口分布マップのリアルタイム生成による行政分野での活用などが期待される

## 不動産業の効率化

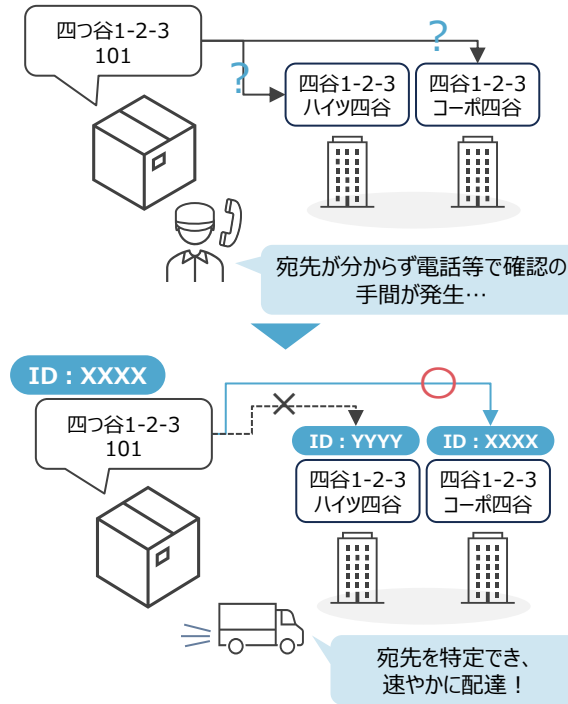
不動産の特定が可能になり、  
不動産情報の名寄せや連携がスムーズに



不動産IDの導入により表記ゆれに依存せず  
データ連携が可能となり、自治体等がオープン  
化した生活インフラや都市計画情報を名寄せ  
することで、**物件調査の負担の軽減**に繋がる

## 物流業務の効率化

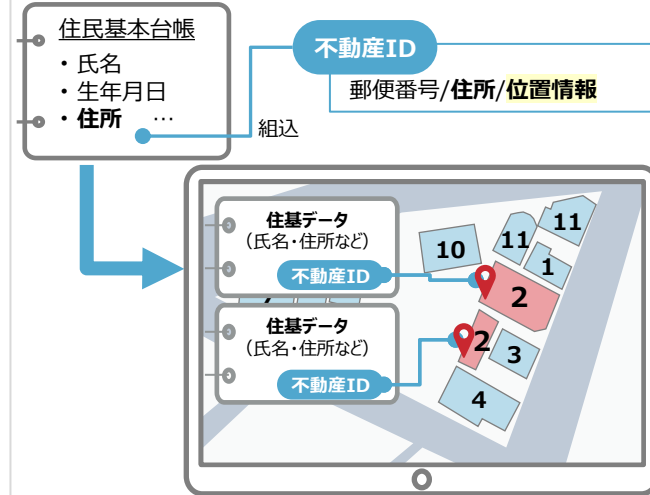
不動産を一意に特定可能になり、  
物流業務における業務負担の軽減に



不動産IDの導入により、建物の特定が可能  
となり配達先の確認等が不要になることで、  
**物流業務の効率化**につながると想定

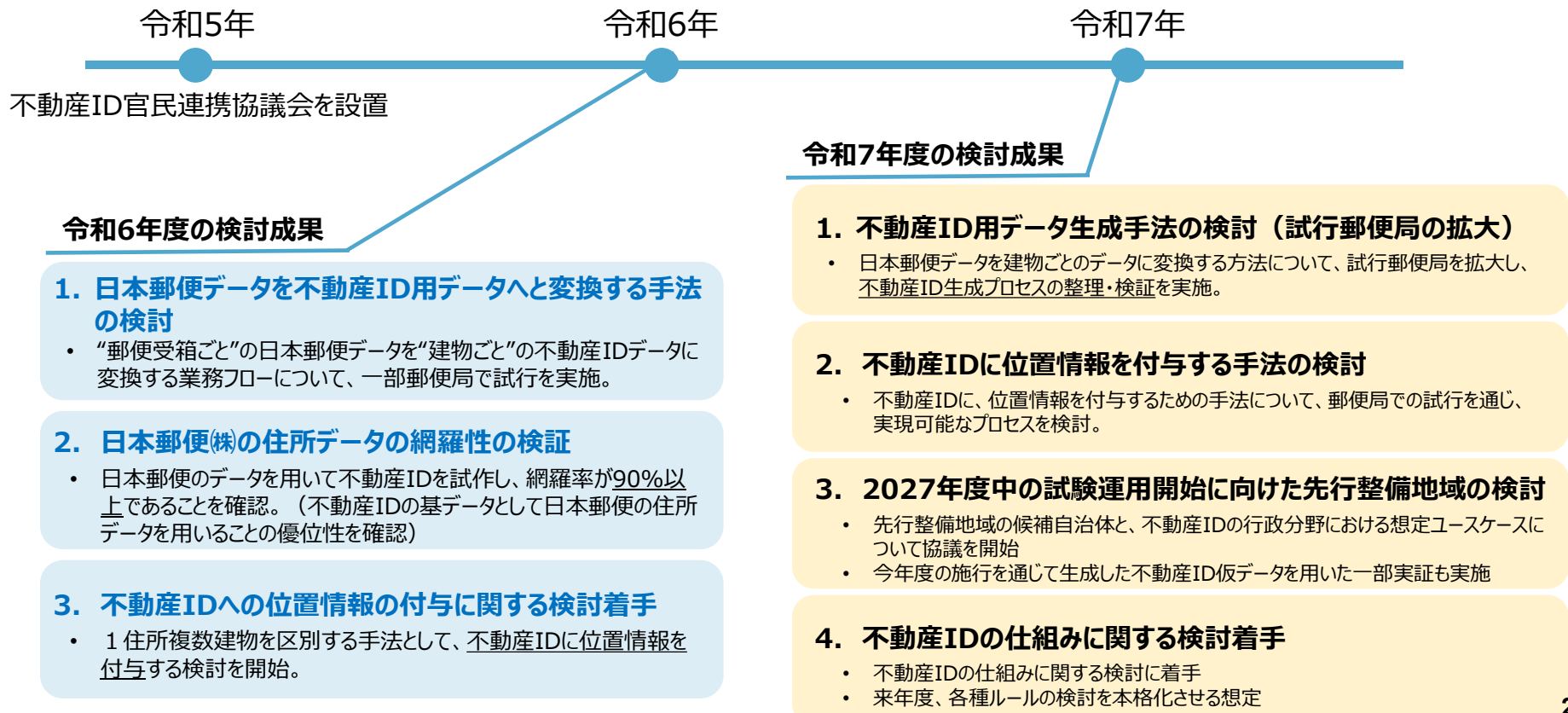
## 行政分野での活用

住民基本台帳に不動産IDを組み合わせることで、  
住基データのデジタルマップでの活用が可能に



住基データに基づく人口グリッドマップの作成に  
より、**救急・消防業務の円滑化・空家把握の  
効率化・バスの運行ルート検討などの効率化**  
が可能になる想定

- 不動産IDの普及促進に向けて、国土交通省では、**令和5年度に「不動産ID官民連携協議会」を設置し、不動産登記情報を活用した不動産IDによる実証事業等を実施した。**
- 当該実証事業等により不動産登記情報を活用した不動産IDの実現について課題が明らかとなったため、**令和6年度以降は、不動産登記情報ではなく、日本郵便株式会社が保有する住所データを用いて不動産IDを生成する方法**について検討を行っているところ。



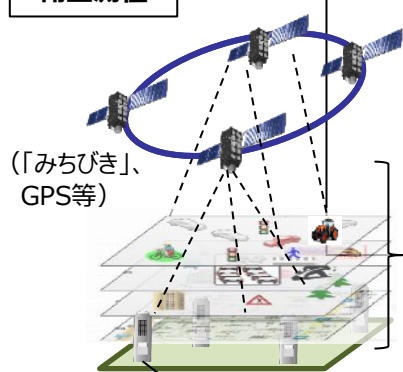
# ジオAI等に関する取組について

---

令和8年3月18日(水)  
国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課

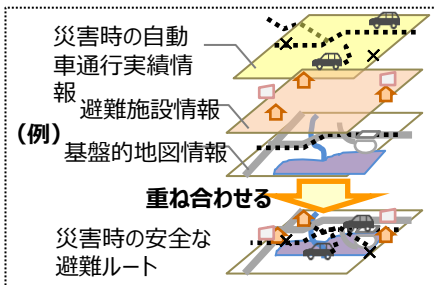
## 地理空間情報の技術基盤

### 衛星測位



### 地理情報システム (GIS)

GIS : Geographic Information System  
 ...位置に関するデータを電子地図上に視覚的に表示し、分析するシステム

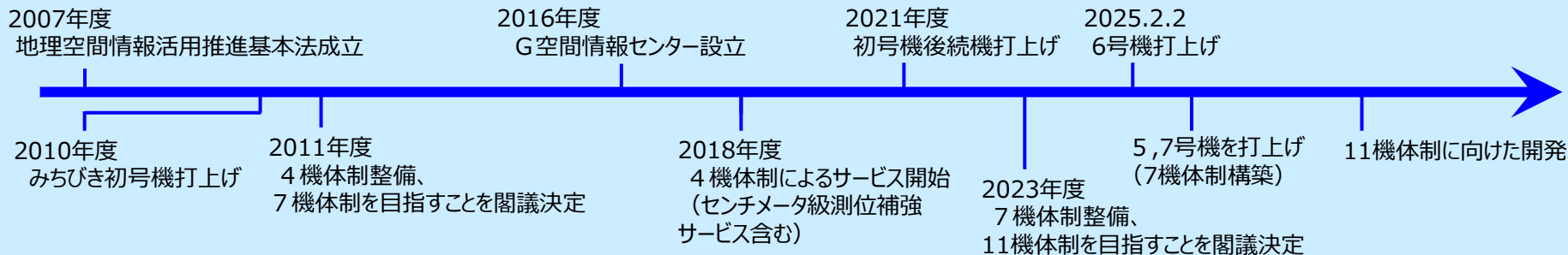


高精度測位を支える電子基準点

- **G空間情報 (G : Geospatial)** とは、**衛星測位等**によって得られた位置や時間、それらに紐づく多様な情報である。
- G空間情報は、**地理情報システム (GIS)** によって可視化することにより、**防災・災害復旧や海洋政策の高度化、交通・建設・農業等の多様な分野における生産性の向上に寄与する。**

## 地理空間情報活用推進基本法と準天頂衛星システム「みちびき」の歩み

- 2007年の「地理空間情報活用推進基本法」成立以降、「みちびき」の初号機打上げ (2010年) や4機体制の構築による高精度測位サービスの提供開始 (2018年) 等の基盤技術の整備を経て、産学官の多様な分野でG空間技術の実装が進展。
- **7機体制の構築※1**や、その先の**11機体制の構築※2**により、測位サービスのさらなる充実が期待される。
  - ※1 他国のシステムに頼らず、みちびきのみでの測位が可能となる。
  - ※2 7機のうち、どの1機が故障しても測位可能となる。また、サービスエリアの拡大が可能となる。



## 防災・減災

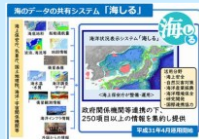
- ・みちびき独自の安否確認、災害・危機管理通報サービス
- ・電子基準点網による地殻変動監視
- ・衛星画像やドローンによる情報収集

- ・災害からの国民の安全確保
- ・迅速な応急・復興

## 海洋



自律型無人探査機 (AUV)



- ・AUVの海中の高精度測位
- ・海洋状況把握 (MDA) と情報の利活用の推進

- ・海洋探索や海洋資源開発の高度化
- ・海洋における環境保全、産業振興、防災・減災等に貢献

## 交通・物流



- ・衛星測位を利用した運転支援、自動運転
- ・ドローンを活用した荷物等配送



- ・過疎地等での移動手段確保
- ・ドライバー不足解消

## i-Construction

- ・衛星測位を利用したICT建設機械による施工
- ・3Dレーザスキャナ等による3次元データの取得と利活用
- ・高精度測位と高精度三次元地図も活用し除雪作業の省力化 (i-Snowプラットフォーム)

- ・建設生産システムの生産性向上

## インフラ管理



- ・ドローン等を活用したインフラ維持点検
- ・衛星データを活用した水道管破損の予測



- ・インフラ管理の人手不足や安全性の確保
- ・効率的な水道管の維持管理・老朽化対策

## スマート農業



- ・衛星測位を利用した農業機械 (トラクター等) の自動走行
- ・ドローンや人工衛星を活用した生育診断
- ・農機の運行状況の高精度把握による経営改善



- ・農業の成長産業化と地域活性化

## レジャー

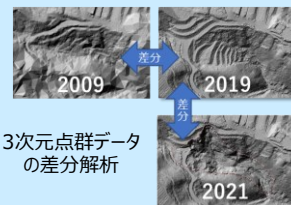
- ・みちびき独自のサービスに対応したゴルフウォッチ

- ・グリーンまでの距離を精度1-2mで確認できる環境の実現
- ・警報受信による安全確保

## 情報流通推進基盤 (G空間情報センター)

### 土砂災害の状況把握

- ・土砂量の差分を解析し、崩落懸念エリアの土砂量を推定
- ・二次災害防止に貢献 (熱海土砂災害)



3次元点群データの差分解析



### 災害リスクの三次元可視化

- ・洪水時の浸水状況を可視化
- ・垂直避難や水平避難の可否を分かりやすく表示

3D都市モデルによる浸水状況の可視化

- ・多様な地理空間情報を課題解決に活用できる環境の構築

公表情報をもとにジオAI研究会事務局作成 (画像は出典企業HP等から引用)



準天頂衛星システム「みちびき」

初号機  
(2010年)

2016年  
Society5.0

第5期科技イ/ベ基本計画



(2010年～)



地球観測衛星 (ALOS:2006年～)

4機体制  
(2018年)

CLAS/災危通報  
(2018年～)

衛星測位に関する取組方針  
(2021年～)

MADOCa-PPP/信号認証サービス  
(2024年～)

SBAS  
(2020年～)

2018年  
DX

DXレポート公表

G空間情報センター

i-Construction  
(2016年～)



2022年  
イ/ベ×安保  
経済安保推進法の制定



人流データの活用  
(2017年～)



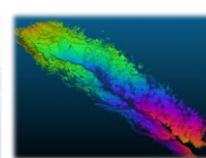
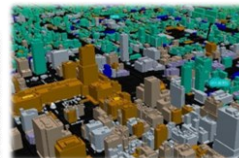
※自動運転Lv.3対応車  
(2020年～)

2025年  
with AI  
AI法の制定

内閣府 総合防災情報システム  
SOBO-WEB

スマート農業促進法  
(2024年～)

点群データ活用  
(熱海土石流: 2021年)



さまざまな測位サービスが進展!

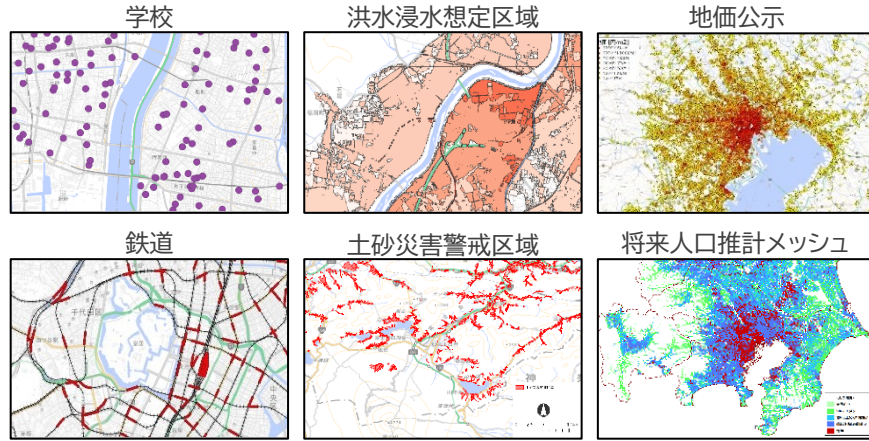
G空間情報が質・量ともに拡大!

多くの分野で社会実装が進展!

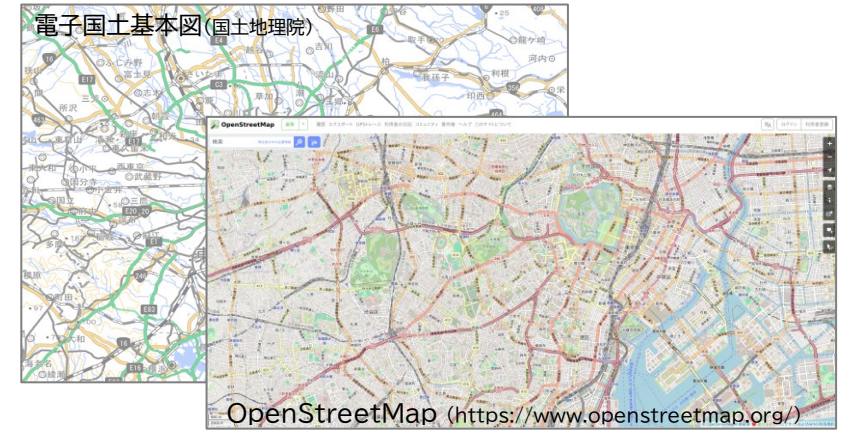
3D電子国土基本図  
(2025年～)



## ■GISデータ(国土数値情報など)



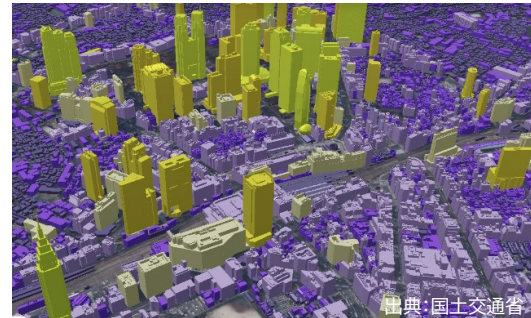
## ■地図(電子国土基本図など)



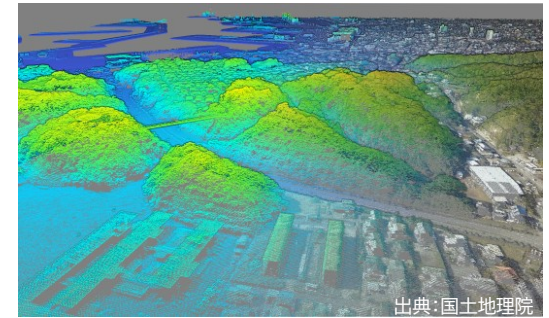
## ■人流データ



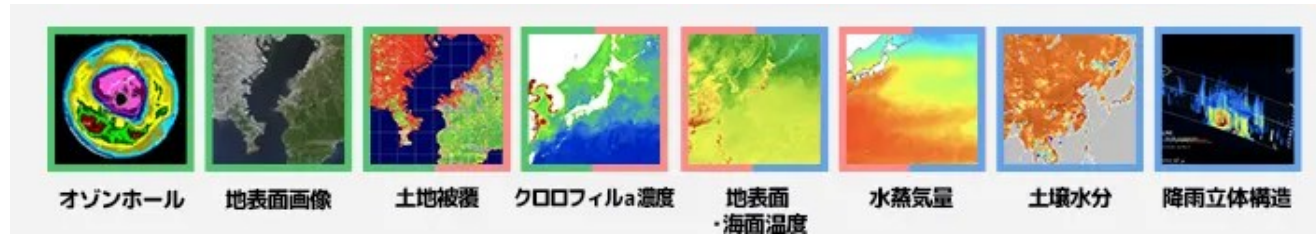
## ■三次元データ(PLATEAUなど)



## ■点群データ



## ■衛星データ



- 土地・建物データ
- 統計データ
- 台帳情報
- テキスト情報
- センサーデータ
- 主観データ …など

# 「ジオAI研究会」の開催について

- スマートシティや不動産、防災・減災やインフラ管理、ロボティクスや自動運転など、多様な分野のDXを支える地理空間情報の活用が広がる中、急速に進展するAIの技術と融合(地理空間情報×AI)することで、我が国経済・社会における地理的・空間的問題の解決が一層図られるとの期待が寄せられている。
- これを踏まえ、「ジオAI研究会」では、ジオAI(地理空間情報×AI)に関する産学官の取組を戦略的に加速するため、その実現に向けた「課題・論点」や「取組の方向性」について議論を行う。

## 委員等

- 【委員】 ◎:座長 (五十音順、敬称略)
- 井上 陽介 G空間情報センターセンター長/PwCコンサルティング合同会社ディレクター
  - 大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授
  - 川島 邦之 一般社団法人LBMA Japan代表理事
  - 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部教授
  - 清田 陽司 麗澤大学工学部教授/人工知能学会理事
  - 久保 信明 東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授
  - 越塚 登 東京大学大学院情報学環教授
  - 坂下 哲也 一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
  - ◎ 柴崎 亮介 麗澤大学副学長/東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
  - 島崎 康信 株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
  - 高瀬 啓司 ESRIジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
  - 布施 孝志 東京大学大学院工学系研究科教授

## 【オブザーバー】

公益財団法人 日本測量調査技術協会  
一般社団法人 地理情報システム学会

## 【関係省庁】

内閣官房、内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省

## 【事務局】

内閣官房地理空間情報活用推進室(G空間室)、国土交通省、国土地理院

## 主な検討事項

- ① ジオAIをめぐる最近の動向
- ② ジオAIの概念整理、目指す姿
- ③ ジオAIの推進・実現に向けた「論点・課題」の整理
- ④ 産官学による「取組の方向性」(協調領域、競争領域)
- ⑤ 推進にあたって配慮・考慮すべき事項

## 当面のスケジュール

令和8年2月:研究会設置  
~以降、月1回程度開催~  
令和8年5月頃:中間整理(予定)

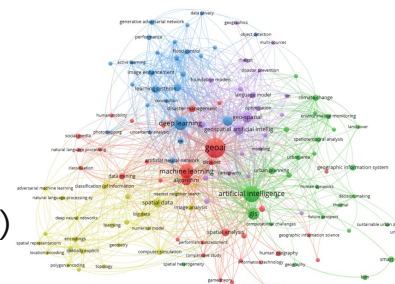
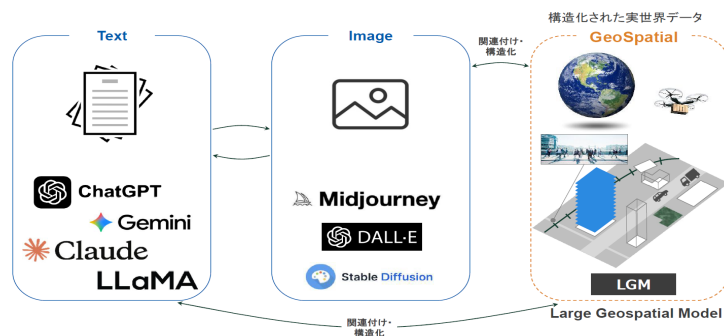


図1 GeoAIの学術領域ランドスケープ (VOSViewer 使用、著作作成)

## 地理空間を含んだマルチモーダルAIの到来



## 地理情報システム学会(GIS学会)

学会誌「GIS-理論と応用」 GeoAIの企画特集

2025年33巻 No.3(2025年12月)

「特集 GeoAI:AI時代のGISフロンティア」

- GeoAI—G空間情報から時空間知能への進化
- GeoAIにおけるGISとBIMの融合における課題と展望
- GeoAI標準化の取り組み
- GeoAIプロンプトエンジニアリングの理論と実践
- 空間情報処理のサイクルにおけるAI技術の体系と展望
- GeoAIの社会実装の動向
- 地理空間AIを活用した地盤評価予測システムの開発と実践
- GeoAIにおける衛星リモートセンシングの動向と展望

出典: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/thagis/list/-char/ja>

## アメリカ地理学協会(American Geographical Society)

「The Future of GeoAI and the Planet」  
をテーマにシンポジウム開催(2025年10月)



出典: <https://www.geography2050.org/>

## 「GIS NEXT」(ネクストパブリッシング社)

地理空間情報×AIに関する特集や  
関連記事が掲載

2024年10月 第89号

「特集:奮闘するGeoAIの開拓者たち」

2026年1月 第94号

「特集 AI×MAPでクマ被害を回避せよ」



出典: <http://www.nextpb.com/gisnext/index.html>

## 人工知能学会

地理空間×AIの分野の関連セッションが複数開催

2025年度 全国大会 (2025年5月)

OS-21 不動産とAI

OS-37 AIを用いた空間・時系列データのモデリング手法  
と応用

2026年度 全国大会 (2026年6月予定)

OS-14 空間・系列データとAI

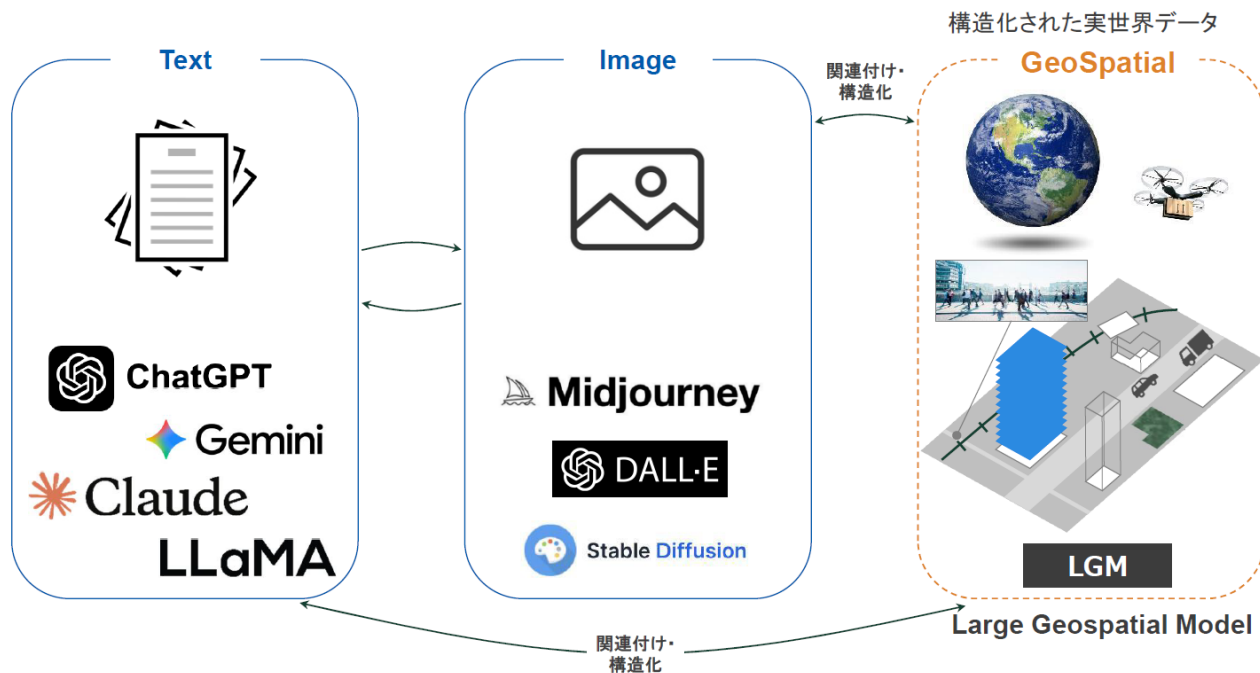
OS-27 不動産とAI

OS-28 GeoAI: 地理空間情報とAI

出典: <https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2025/>  
<https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai2026/>



## 地理空間を含んだマルチモーダルAIの到来



2

大規模言語モデル(LLM)は、テキスト・文章情報のみをカバー

地理空間AIは、空間関係を理解し、議論の内容等を図面・地図に落とし、シミュレーションを実施することができる

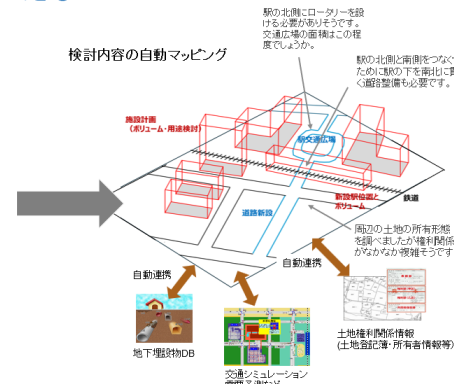


自動文字起こし(議事録作成)

- 交 新駅開業にあたって、駅の位置は概ね決まりましたが周辺地権者の合意は得られそうですか。
- テ 周辺の土地の所有形態を把握しましたが権利関係がなかなか複雑そうです。
- テ 買収が厳格なくらいを提示すればよいでしょうか。
- テ 周辺ではこの数年間ほとんど取引がないので価格を推定するのは結構大変です。ちゃんとした不動産鑑定士に頼む必要があります。
- 自 駅周辺を大規模に開発するのならガスや電力などのライフラインから見て、周辺状況はどうでしょうか。
- 設 駅開業に向けて乗り換えを含めた交通の取回しはちゃんと考える必要があります。駅の北側にロータリーを設ける必要があります。交通広場の面積はどの程度でしょうか。
- テ 駅の北側に高層ビルを建てたいので駅の下を南北に貫く道路整備も必要です。位置は近いのでいいと思います。
- 設 駅空間の交通キャパシティや駅の乗降客数の予想値を踏まえて、駅周辺に新規開発する建物の容積を考えてほしい見解を伺っています。
- 設 駅の乗降客数の予想値が一層高くなります。ちゃんとしたコンタクトの把握が必要です。



検討内容の自動マッピング



## 地理空間AIのできるユニークなこと：未知の状況に対応できる

### ★未知の状況下でのGeospatialな予測ができる

- 例) 新しいモールへの来訪者数の予測ができる
- さらに、ひとつのMallの出現がその地域・社会のありようを連鎖的にどのように変えるのか？ 全てわかる！
- 総合的な世界のSimulationが最終的には可能になる。

「〇〇したら、  
この世の中はどう変わる？」

「では、何をしたらよい？」

### ★未知の状況下で、どう行動するとよいのか？ 指示できる

- 短期的な最適行動だけではなく、連鎖的变化も念頭に置いた長期的な最適化方策を提案できる
- LLMのような常識レベルの情報提供ではなく、場所・状況に即した詳細な指示、オペレーションサポートが可能になる。
- ロボット・ドローン等、「知能機械」「知能システム」の自動オペレーションなど、リアルなアプリケーションをAIで自動的に駆動することが可能になる。

必要な学習データ：たとえば、1人1人の移動・活動、一つ一つの空間変化などに関して、広く、深い背景/文脈データを大量に準備できるか？

